

# 白石遠近法

第1回尚綱メディアフェスタ  
～今から描きたい～



■会場 壽丸屋敷・アテネ・中央公民館ほか市内中心部  
■主催・制作 市民有志の皆さん・白石市・尚綱学院大学  
【問い合わせ】企画情報課 ☎22-1324

この秋11月1日から3日まで、壽丸屋敷・アテネ・中央公民館ほか、市内中心部を会場に文化イベントを開催します。  
名取市にある尚綱学院大学表現文化学科が中心となって企画したこのイベント。「第1回尚綱メディアフェスタ」今から描きたい「白石遠近法」のタイトルの下、遠くから近くから、過去・現在・未来から、学生と教員88人の視点で、思い掛けない白石、これまで見えなかった白石の姿を描いてみたいと思っています。  
市民の皆さんからのご協力をいただきながら、展示やシンポジウム、コンサートなどさまざまな企画を準備中です。  
現在、学生や教員が調査や取材、撮影のため市内をたびたび訪れては、歩き（走り？）回っています。

1 彼方にある蔵王を尚綱学院大学からも見ることができます▶2 第1回尚綱メディアフェスタのタイトル案会議。「～今から描きたい～ 白石遠近法」はここで決まりました▶3 学内のイベントで舞台演出の実践演習。今回は今まで学んできた知識、経験をすべて生かします▶4 孫太郎虫をモデルにした「ま〜ご」のアニメの制作風景。少しずつ粘土のキャラクターを動かしては、1枚1枚撮影していきます。完成作品や模型などはイベントで見ることができます

学生の卒業研究の一環としても取り組んでいるこのイベントは、地域の皆さんとのふれあいを通じて「若者ならではの」視点で新しい白石の魅力を描き出そうというものです。  
現在、音楽・映像・ことば・展示・インターネットなど、さまざまなメディアの特性を活かした企画が進行中です。  
もちろんすべての催しは入場無料。中でも「ぼっかほかコンサート」広げよう、みんなの「和〜」では、ゲストに津軽三味線の柴田三兄妹を迎え、皆さんから募集した白石での思い出話を交えた温かい演奏会。和太鼓やよさこい、合唱など市民団体の出演もあります。

加。決してお堅い学術の内容ばかりにはなりません。「オタク的素養」を持つ教員のトークでは、近年注目を集めるサブカルチャーがもたらす地域活性化効果のヒントについても触れられるのではと考えています。  
「白石アート大作戦」は、学生が脚本・演出・出演を務めたオリジナル映像作品。オール白石ロケ敢行によるリアル青春ムービーです。  
斎川地区ゆかりの孫太郎虫を、「ま〜ご」としてキャラクター化したクレイ・アニメの上映は、特に小さなお子さまには大人気となるでしょう。こちらにも制作は学生ですが、声の出演はプロの声優さんに依頼した本格的なものです。  
そのほか、まちのお店をお借りして、新しいタイプの博物館展示「白石本郷まちなみミュージアム」



5 昨年行われた尚綱メディアフェスタイベントの本部の様子。スケジュール管理から企画運営まで、学生が中心となって行われました  
6 昨年行われた尚綱メディアフェスタイベントで、白石ゆかりの「孫太郎虫」をモチーフに「孫太郎龍」を制作しました



「ジァム」を開催します。民謡や詩の朗読による「ことばで見る白石」やキーワードやキーワードを基に作成した「しろいしキーワードマップ」、雑誌や新聞発行の「どっこい、活字は元気だ」、オリジナルデザイングッズの「おもしろい市」、そして地域ブランドとしてのキャッチコピー「LIVEアテネ」など、ゼミごとにいろいろな角度から白石にスポットを当てます。  
街なかや会場で、学生や教員の姿を見かけたら、ぜひ声をお掛けください。まだまだ不慣れな私たちです。「こんな白石を知っているよ：」「こんな白石がおもしろいよ：」などのアドバースをいただくと、大変励みになります。  
詳しい日程などは、新聞折り込みでお知らせする予定です。皆さんぜひご来場ください。



7 まず地元ガイドの方々から説明を受け、調査が始まりました▶8 「片倉小十郎」の調査のため、初代景綱の墓標である傑山寺の一本杉で歴史を体感！▶9 白石市内を調査中に、小粋な番傘を発見「これ、小道具に使えるかな〜」▶10 地図とコンパスを片手に右往左往して白石市内を調査中。大変ご迷惑をお掛けします▶11 情報センター・アテネでイベントに使う機材のテスト。このカメラをお借りしてインターネットのライブ配信を行います▶12 斎川地区の「孫太郎茶屋」で、妙薬「孫太郎虫」の調査のためインタビューを行いました

